



株主のみなさまへ 第22期 中間報告書

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

富士石油株式会社

証券コード：5017



ご挨拶

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第22期中間報告書(2023年4月1日～9月30日)をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、世界各国でグリーントランスフォーメーション(GX)実現に向けた取組みが加速する中で、国内においても2050年カーボンニュートラル目標の実現に向けた官民の動きは益々活発になってきております。

一方で、エネルギーの安全保障も再注目されてきております。

1

こうした中、当社は来年度に第三次中期事業計画の最終年を迎えます。収益の安定的拡大と環境負荷低減の両立に向け、重点課題として掲げている「稼働信頼性の維持と競争優位性の確立」及び「製油所の徹底した環境負荷低減と脱炭素ビジネスの追求」への取組みをより一層強化し、持続的な企業価値の向上を目指す所存でございます。

また、本年から統合報告書の作成を開始し、10月に「統合報告書2023」として公表いたしました。財務情報だけでなくESGに関連する取組みなどの非財務情報を掲載しており、当社グループに対するご理解をより深めていただける内容となっております。当社ホームページにアクセスの上、是非ともご一読いただきますようお願い申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き当社グループ事業へのご理解と、今後の事業発展に向けた長期的なご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

目次

株主のみなさまへ	1
営業の概況	3
連結決算ハイライト	5
連結財務諸表	7
TOPICS	9
グループ概要	11
会社概要	13
株式の状況	14
株主メモ	裏表紙



代表取締役社長

山本 重人

営業の概況

当上半期におけるドバイ原油価格は、世界的な景気後退懸念から6月まで下落基調となりましたが、7月以降は複数の産油国による追加自主減産の表明や年末に向けた世界的な原油需給逼迫懸念の台頭等を背景に上昇に転じました。この結果、期中平均では約82ドルとなりました。

一方、期初1ドル133円台前半で始まった為替相場は、日米金融政策の方向性の違いによる金利差等を背景にドル/円が続伸した結果、期中平均は141円台前半となりました。

このような事業環境のもと、袖ヶ浦製油所での原油処理量や当社の石油製品及び石油化学製品等の販売数量は、小規模定期修理を行った影響等により前年同期比で減少となりました。

こうした状況のもと、当上半期の業績は4ページに記載のとおりとなりました。

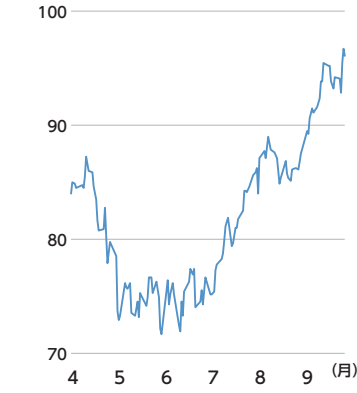
販売実績

(単位：千キロリットル)

	2022年度上半期	2023年度上半期	前年同期比
原油処理量	3,930	3,127	80%
製品販売数量	4,017	3,276	82%
ガソリン	1,176	1,012	86%
ナフサ	210	150	71%
灯油・ジェット燃料	681	569	84%
軽油	878	709	81%
A 重油	174	134	77%
C 重油	133	161	121%
ベンゼン・キシレン	223	182	82%
石油ピッチ・その他	542	360	66%

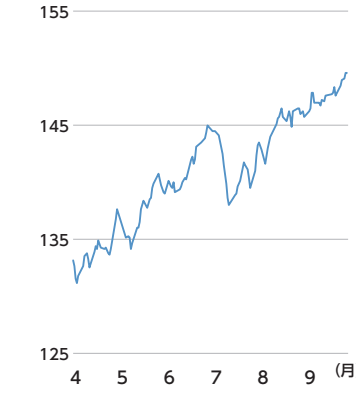
ドバイ原油価格

ドル/バレル



為替レート

円/ドル



売上高

3,197億円
(前年同期比 1,250億円減収)

営業利益

122億円
(前年同期比 42億円減益)

経常利益

135億円
(前年同期比 37億円減益)

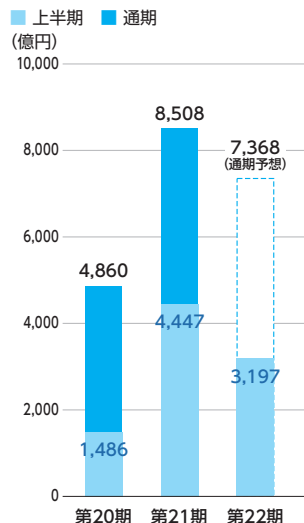
親会社株主に帰属する 四半期純利益

112億円
(前年同期比 32億円減益)

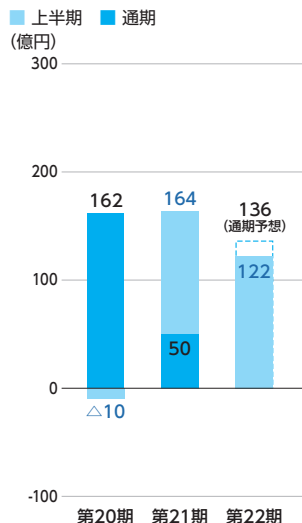
	2022年度上半期	2023年度上半期
ドバイ原油価格(ドル/バレル)	102.50	82.21
為替レート(円/ドル)	134.03	141.06

連結決算ハイライト

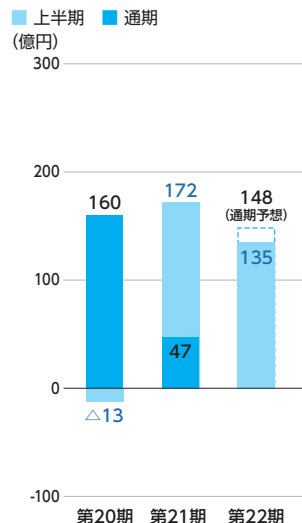
売上高



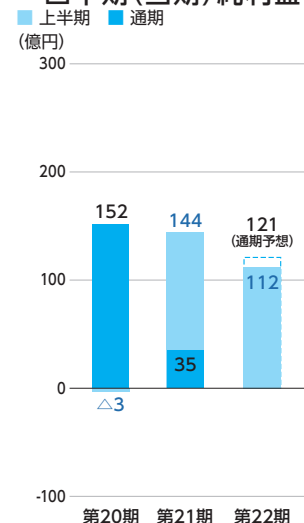
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



通期連結業績見通し

第22期見通しのポイント

最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想を作成しました。

見通しの前提

原油価格(ドバイ原油)：下期85ドル/バレル
為替レート：下期145円/ドル

業績

売上高は7,368億円(前期比1,140億円減収)となる見通しです。また、損益につきましては、営業利益136億円(前期比85億円増益)、経常利益148億円(前期比100億円増益)、親会社株主に帰属する当期純利益121億円(前期比85億円増益)となる見通しです。

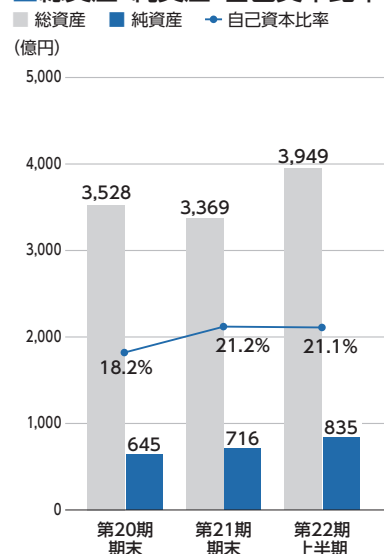
通期予想

売上高 7,368億円

経常利益 148億円

親会社株主に帰属する
当期純利益 121億円

総資産/純資産/自己資本比率



通期連結業績見通しに関して

通期連結業績見通しにつきましては、2023年11月10日時点において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により見通しと異なる場合があります。

連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(百万円)

科 目	当第2四半期末 (2023年9月30日現在)	前期末 (2023年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	265,468	210,970
固定資産	129,499	126,014
資産合計	394,967	336,985
負債の部		
流動負債	275,451	226,545
固定負債	35,969	38,780
負債合計	311,420	265,326
純資産の部		
株主資本	77,783	67,345
その他の包括利益累計額	5,572	4,130
非支配株主持分	191	182
純資産合計	83,547	71,658
負債純資産合計	394,967	336,985

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科 目	当第2四半期 連結累計期間 (2023年4月 1日 ～2023年9月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (2022年4月 1日 ～2022年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,318	△32,762
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,632	△439
財務活動による キャッシュ・フロー	3,123	34,586
現金及び現金同等物に係る 換算差額	212	△262
現金及び現金同等物の 増減額	384	1,122
現金及び現金同等物の 期首残高	8,329	7,912
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,714	9,035

■ 四半期連結損益計算書

(百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (2023年4月 1日 ～2023年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (2022年4月 1日 ～2022年9月30日)
売上高	319,711	444,773
売上原価	305,061	425,646
売上総利益	14,649	19,126
販売費及び一般管理費	2,399	2,652
営業利益	12,250	16,474
営業外収益	2,548	3,537
営業外費用	1,232	2,735
経常利益	13,566	17,276
特別利益	9	0
特別損失	5	21
税金等調整前四半期純利益	13,570	17,254
法人税、住民税及び事業税	1,822	2,693
法人税等調整額	526	69
四半期純利益	11,220	14,490
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,209	14,482

7

さらに詳しい財務情報は
当社ホームページをご覧ください。

富士石油

検索

<https://www.foc.co.jp/>



トップページ

クリック



株主・投資家情報

8

小規模定期修理の実施

本年5月から6月にかけて、袖ヶ浦製油所において定期的な機器開放点検(小規模定期修理)を実施しました。

今回の定期修理では、全装置の運転を停止した上で一部装置の補修工事や触媒交換作業を行いました。また、第1アルキレーション装置について、年間を通じて安定的に高稼働を維持できるように改造工事を実施しました。

今後もドローンやAIなどのデジタル技術を活用しながら製油所設備の稼働信頼性の維持・強化に努めるとともに、近年頻発化・激甚化する災害に備え、エネルギーの安定供給という社会的使命を果たしてまいります。

定期修理とは？

安全・安定操業を続けるために、製油所では法定期間ごとに装置の運転を停止して点検・補修を実施しています。定期修理中は生産がストップするため、供給が滞らないよう、事前に入念な計画を立てて生産調整を行います。

定期修理中の製油所

従業員及び多くの協力会社の方々の尽力により、作業は無事に完了しました。

次回は2025年に大規模定期修理を予定しています。



第1アルキレーション装置



処理能力:5,800バレル/日

1997年より運転開始。ガソリンのブレンド基材であるアルキレートを生成しています。

9

低炭素アンモニアの受入・混焼

当社は4月にサウジアラビアから低炭素アンモニアの受入を行い、袖ヶ浦製油所のボイラーにおいて原油由来の燃料との混焼実験に使用しました。今回受け入れたアンモニアは、その製造過程で発生するCO₂を分離・回収し、原料として後工程で活用することから、低炭素に分類され、第三者認証機関より「低炭素アンモニア」として認証を得ています。

2050年カーボンニュートラルの実現を目指す中で、低炭素アンモニアはCO₂排出量削減に寄与する次世代燃料として期待されています。

なぜアンモニア？

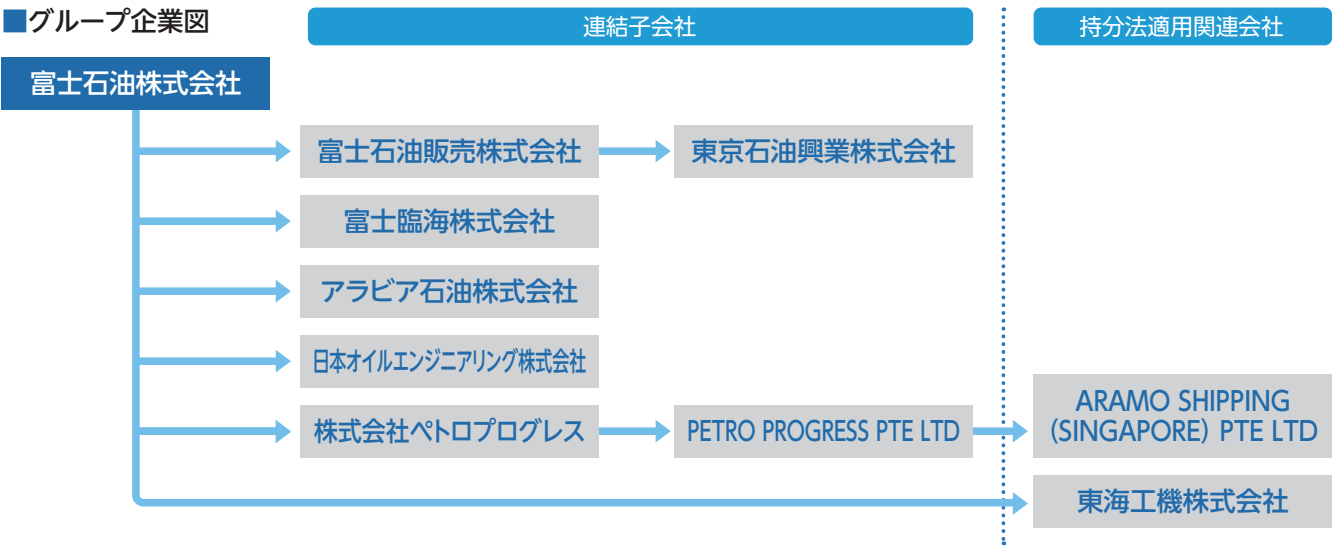
アンモニア(NH₃)は、炭素(C)が含まれていないため、燃焼しても二酸化炭素(CO₂)が発生しません。



アンモニア(NH₃)



今後もアンモニアのボイラー燃料としての利用やアンモニアサプライチェーンの構築に向けた検討に鋭意取り組むなど、社会全体のカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。



会社名		所在地	資本金	出資比率(%)	主要な事業内容
富士石油販売株式会社	※1	東京	100百万円	100.0	石油製品の販売・納入代行、保険代理店業務
富士臨海株式会社	※1	千葉	10百万円	85.0	海上防災、原油・石油製品の入出荷、産業廃棄物の収集運搬、太陽光発電
アラビア石油株式会社	※1	東京	100百万円	100.0	石油開発プロジェクト関連の資産管理等
日本オイルエンジニアリング株式会社	※1	東京	100百万円	100.0	石油・ガス・その他エネルギーの開発・生産・環境対応に関するエンジニアリング、コンサルティング
東京石油興業株式会社	※1	東京	120百万円	(100.0)	道路舗装用アスファルト材の製造・販売、道路舗装材等の産業廃棄物処理による再生、舗装工事請負
株式会社ペトロプロGRESS	※1	東京	100百万円	100.0	原油・石油製品の調達、販売等
PETRO PROGRESS PTE LTD	※1	シンガポール	34百万シンガポールドル +733千米ドル	(100.0)	海外における原油・石油製品の調達、販売
ARAMO SHIPPING (SINGAPORE) PTE LTD	※2	シンガポール	20,742千米ドル	(50.0)	原油タンカー・LPGタンカーの保有、運航
東海工機株式会社	※2	千葉	40百万円	40.0	各種プラントの建設・保全等

※1 連結子会社 ※2 持分法適用関連会社

(注) ()は当社の間接出資比率です。

会社概要 (2023年9月30日現在)

商号 富士石油株式会社
(英文商号 Fuji Oil Company, Ltd.)
設立 2003年1月31日
資本金 24,467百万円
従業員数 単独488名 連結699名
本社 東京都品川区東品川二丁目5番8号

役員
代表取締役社長 山本重人
社長執行役員 川畑尚之
代表取締役 岩本巧
常務執行役員 津田雅之
取締役 渡邊厚夫
常務執行役員 前澤浩士
取締役(社外) 佐藤良
取締役(社外) ムハンマド・シュブルーミー
取締役(社外) ハーリド・サバーハ
取締役(社外) 坂本倫子
常務執行役員 寺尾健一

常務執行役員 山本孝彦
執行役員 石塚俊哉
執行役員 比佐大
執行役員 平野雅洋
執行役員 今井大樹
執行役員 中山元宏
常勤監査役(社外) 藤澤知穂
監査役(社外) 力石晃一
監査役(社外) 富井聡
監査役(社外) 金井睦美

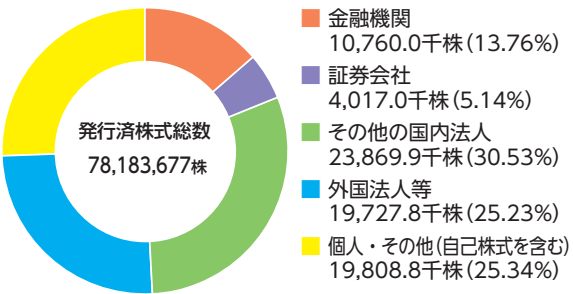
会計監査人
有限責任あずさ監査法人

株式の状況 (2023年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株
発行済株式総数 78,183,677株
株主数 16,181名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社JERA	6,839.9	8.84
クウェート石油公社	5,811.3	7.51
サウジアラビア王国政府	5,811.3	7.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,436.5	7.03
出光興産株式会社	5,144.0	6.65
住友化学株式会社	5,051.6	6.53
日本郵船株式会社	2,750.8	3.55
ENEOSホールディングス株式会社	1,350.0	1.74
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	1,222.9	1.58
小山 匡	1,161.4	1.50

(注) 持株比率は発行済株式総数から自己株式(865.9千株)を除いて計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
期末配当金 受領株主確定日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先及び 電話照会先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル：0120-288-324
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 https://www.foc.co.jp/

富士石油株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目5番8号 天王洲パークサイドビル
TEL 03-5462-7761 FAX 03-5462-7815
ホームページアドレス <https://www.foc.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

特別口座に記録された株式を お持ちの株主様へ

証券会社等の口座にて管理されていない株式は、当社がみずほ信託銀行株式会社に開設した口座(特別口座)に記録されております。

特別口座に記録されている株式の売買等を行うためには、一旦株主様ご本人名義の証券会社口座※に振替手続きを行っていただく必要があります。

なお、振替のお手続きには、みずほ信託銀行株式会社宛に「口座振替申請書」のご提出が必要となります。詳しい情報は、みずほ信託銀行株式会社のホームページをご覧くださいか、フリーダイヤル(0120-288-324)にお問い合わせください。

※ 口座をお持ちでない株主様はあらかじめ証券会社で口座開設のお手続きを行ってください。

